



令和8年9月25日

関東運輸局

関東地方整備局

JR内房線及び並走する県道 287 号線の災害復旧に係る 事業間連携に関する地方連絡調整会議（開催結果）

本日開催した「JR内房線及び並走する県道 287 号線の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議」の開催結果についてお知らせします。

令和8年台風25号によりJR内房線及び並走する県道 287 号線において隣接する斜面が4箇所崩壊し、鉄道及び道路に土砂流入したことにより、鉄道施設等の被害が発生しています。JR内房線の運転再開のためには、土砂の撤去及び鉄道施設の復旧が必要であり、本日、被災状況、復旧に向けた課題について関係機関との情報・意見交換を行い、当該箇所の早期復旧に向けた協力及び連携を強化していくことを確認しました。

主な意見交換

（早期復旧について）

- 千葉県からは、令和8年台風25号における県内の道路、河川等の被害状況、及び当該箇所の斜面崩壊規模と当時想定される降水量等について、説明がありました。
- 関東地方整備局からは、当該箇所の斜面崩壊のメカニズム解明のため、国土技術政策総合研究所及び国立開発研究法人土木研究所による調査の実施について説明がありました。
- JR 東日本千葉事業本部からは、当該箇所の土砂撤去等の緊密な連携の必要性について説明がありました。
- 早期復旧に向けた協力及び連携を強化していくことを確認しました。

（復旧までの対応について）

- 運転休止している期間のバス代行について、必要なバス台数の確保、バスの待機スペースの必要性等について確認し、関係機関において協力をしていくことを確認しました。また、JR 東日本千葉事業本部からは、バス代行の他、被災した箇所の手前の駅にて折り返すような鉄道を活用した輸送の検討も開始しているとの説明がありました。

（今後の対応について）

- 早期復旧に向けた情報交換、課題対応等を行うため、本会議については引き続き、適宜実施していくことを確認しました。

【問い合わせ先】 関東運輸局 鉄道部 技術・防災第一課
関東地方整備局 防災室

重村 電話 045-211-7241
本住 電話 048-600-1333